

墨田区のお知らせ

No.2114

2024年
(令和6年)

8/1

毎月1日・11日・21日発行

◆2面以降の主な内容

2・3面……すみだプレミアム付デ
ジタル商品券等

3～6・8面……講座・教室・催し・募集

7面……すこやかライフ



ひと、つながる。

墨田区

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 ☎130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>

「雨」を活かして 未来へつなごう

海拔0m地帯に位置する墨田区。実は雨水活用の先進都市であることをご存じですか？区では、まだ雨水活用が一般的ではなかった昭和50年代から「雨水の貯水と活用」を進めており、平成6年には、日本初の雨水活用をテーマにした国際会議が墨田区で開催されました。さらに今年は、30年の時を経て8月3・4日に「第14回雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ」が開催されます。今号1面では雨水活用の必要性や、区内の雨水活用の取組事例等をご紹介します。

【問合せ】環境政策課環境政策担当 ☎5608-6209



そもそも雨水活用ってなに？

建物の屋根に降った雨水を貯留槽(タンク)に貯めて、植木への散水やトイレの洗浄水等に活用することです。タンク等に雨水を貯めれば、ゲリラ豪雨発生時に雨水が下水道に大量流入するのを抑えられ、洪水被害を軽減できます。さらに、火災の初期消火や災害時の生活用水にも活用できます。区内に点在する「路地尊」も、雨水タンクの一つで、誰でも活用できます。

平常時の雨水活用例



どうしてすみだは雨水活用が盛んなの？

昭和56年頃、錦糸町・両国駅周辺では「都市型水害」に度々悩まされていました。国技館が昭和57年に両国へ移転する際、水害防止と水資源の有効活用のため雨水活用の導入を日本相撲協会に申し入れ、雨水タンクが導入されました。これが区の雨水活用の始まりです。これを機に、区は全国に先駆けて雨水活用に取り組み、新設する区施設には雨水タンクを導入し、民間施設への助成制度等も創設しました。



台風により被害を受けた錦糸町駅周辺の様子

雨水を活用してみませんか？

雨水タンクの設置助成

申込方法等の詳細は、区HPをご覧ください。

【対象】区内に雨水タンクを設置する方【助成額】工事費等の経費を含む雨水タンクの価格の1/2(消費税等を除く) *限度額は5万円



打ち水グッズの無料貸出し

区では、雨水や再活用水の打ち水を推進するため、打ち水に使うひしゃくやバケツを貸し出しています。打ち水の活動報告をした方には手拭いを進呈します。詳細は区HPをご覧ください。

打ち水体験



雨つぶぐるぐるすごろく



あまみずフェスティバル

第14回雨水ネットワーク全国大会

2024 in すみだ

雨になりきって水の循環を学ぶ「雨つぶぐるぐるすごろく」、「シャワーズ」と一緒に行う打ち水体験やグリーンティング(2日のみ)、専門家によるパネルディスカッションなど、雨水活用を楽しく学べるイベントが目白押し！詳細は雨水ネットワークHPをご覧ください。

【とき】8月4日(日)までの午前10時～午後5時 *最終日は午後4時まで【ところ】すみだリバーサイドホール(区役所に併設)、区役所前うるおい広場等



「水の日」応援大使「シャワーズ」

6 安全な水とトイレ
を世界中に13 気候変動に
具体的な対策を